

平成23年7月8日

平成23年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より減少した。前年の約半分となったが、平年(14.6個/曳網)と比べると多かった。

前年	平成22年7月1日	(7点の平均)	52.9 個
前回	平成23年6月16日	(17点の平均)	108.5 個
今回	平成23年7月6日	(7点の平均)	29.1 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より減少した。前年より若干多いものの、平年(4.2尾/曳網)より少なかった。

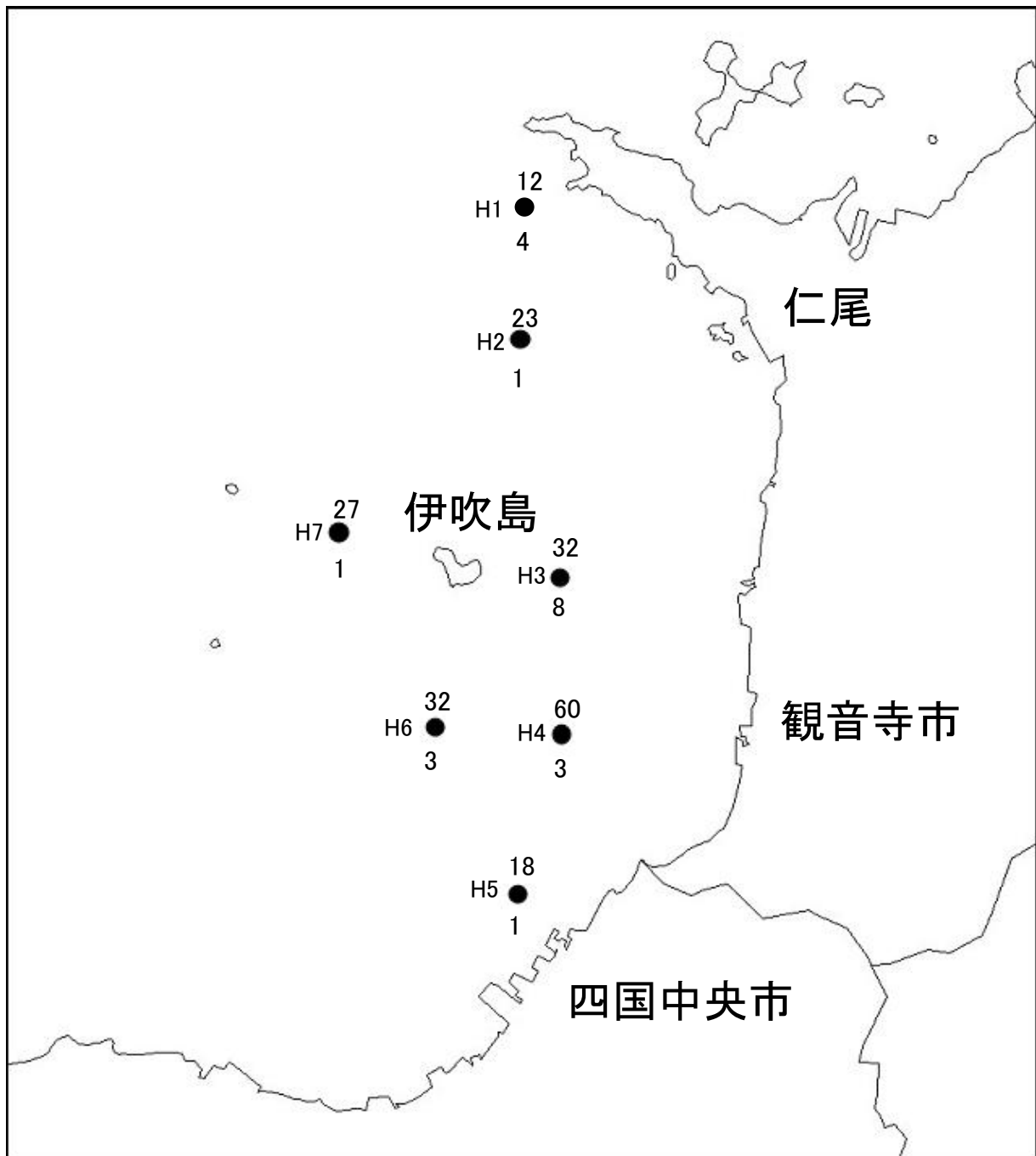
前年	平成22年7月1日	(7点の平均)	2.1 尾
前回	平成23年6月16日	(17点の平均)	4.5 尾
今回	平成23年7月6日	(7点の平均)	3.0 尾

○プランクトン調査

カブクラゲは前回の調査より少なくなったが、すべての点で優占種であった。餌として重要なカイアシ類の量は少ない。

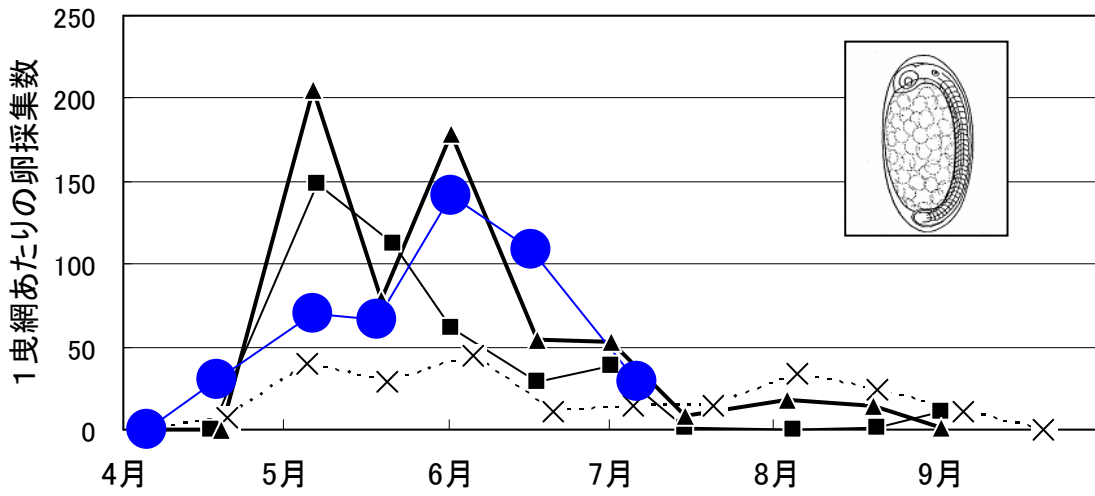
次回の調査は7月21日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(7.6)

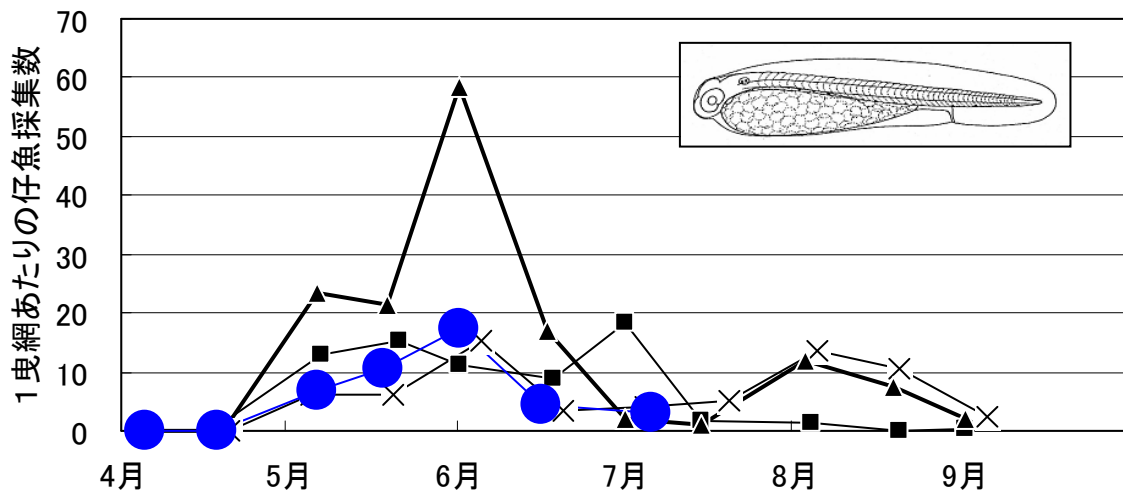
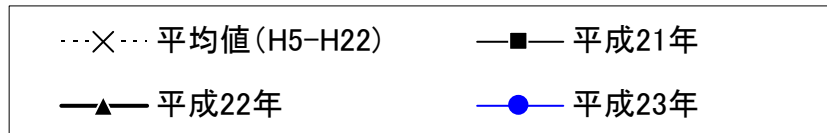


●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

